



## ～宗谷ゼミの歴史～



### ○宗谷の教育との出会い

私たちが宗谷に初めて調査団として訪れたのは、1992年のことです。それまで、名古屋大学教育経営学研究室のゼミでは、主に文献による学習を行っていました。しかし、それだけでは学問研究の意義を掴みとり難く、行き詰まりを感じていました。その折、当時名古屋大学教育経営学研究室内の助教授だった植田健男教授が、宗谷の実践報告を聞く機会がありました。そこで、実際の教育現場から学びたいと感じたことから、この宗谷教育調査団が発足しました。

### ○「宗谷ゼミ」の発展

発足から5年にわたる調査で、宗谷における教育経営の全体像を明らかにし、一つの区切りとなりました。その後は、報告の形態に関しては研究内容のみを掲載するのみでなく、ゼミの日常的な活動や調査の過程なども盛り込んだ、私たちの一年間の教育・研究活動のすべてを収めた冊子として『地域教育経営に学ぶ』を新たに創刊することになりました。

調査内容に関しても、宗谷合意運動や子育て運動だけでなく、各学校の教育課程や教職員集団、保護者や地域住民との共同、さらには教育行政など多岐に渡らせて頂いています。

### ○継続的な調査研究へ

1992年の発足以降、現在に至るまで継続的に調査が行われてきました。こうした中で、我々と宗谷の方々との関係をお互いに学びあえるような関係にしていこうとの提案が両者からなされ、宗谷と調査団との「共同」関係が築かれてきました。

これまでの宗谷教育調査団に参加した人数は、実人数で248人、延べ人数では433人にのびます。現在では宗谷と調査団の関係をさらに発展させ、宗谷での教育調査活動を宗谷の方々にとっても意義あるものとするために、さらなる研究の充実を目指しています。

## ～日々の宗谷ゼミ活動内容～

### ○本ゼミ

毎週金曜日の4時限目に行っている活動です。学生が司会進行をし、議題を決めるなど、学生主体のゼミ活動です。毎回議論が白熱し、90分の1コマに収まりません。

### ○サブゼミ

毎週火曜日のお昼休みに行っている活動です。サブゼミでは、金曜日の本ゼミに向けて、主に事前検討をしています。

### ○分科会

調査対象ごとの班単位で行う話し合いです。問題意識や課題設定などの書き直しなど、班員の予定を合わせて平日はほぼ毎日行っています。

### ○検討会

各班の調査について、ゼミ生全員で検討しています。今後の調査の方針が決まるような重要な話し合いです。



### ～宗谷ゼミとは～

「宗谷ゼミ」とは名古屋大学教育学部教育経営学研究室が開講している「教育経営学演習Ⅰ・Ⅱ-地域教育経営の事例研究」及び「教育経営学実習」の呼称です。保護者や地域住民、教育行政関係者など地域の教育関係当事者が教育について合意を形成・運営する地域教育経営の理論と、具体的な実践事例について学ぶことが目的です。自らの問題意識をもとに班を結成し、北海道宗谷地区における地域教育経営の事例について各班ごとに研究課題を設定し、調査及び分析を行います。最終的にはこの調査をもとに班で1つ論文を執筆し、全班の論文をまとめ、『地域教育経営に学ぶ』という報告書を作成します。

### ～1年の流れ～

- 4月：前期宗谷ゼミ始動。
- 5月：GW 学習会で宗谷の教育合意運動や子育て運動について学習。各々の問題意識をもとに班を結成。
- 6,7月：予備調査で実際に宗谷へ伺い、それをもとに班の問題意識を深める。
- 8月：夏合宿で各班の問題意識、課題設定、インタビュー項目をさらに深める。
- 9月：宗谷の地で1週間程度の調査。調査後は資料の整理 インタビュー起こし。
- 10月：後期宗谷ゼミ始動。
- 11月：章構成や内容の構想を検討。
- 12,1月：各班の執筆した論文の検討。同時に報告書の企画ページも作成。
- 2月：校正・修正作業を経て報告書の完成。

### ～今年度の調査対象一覧～

今年度は、以下の対象について調査させていただきます。  
いただきたいと考えております。

- 稚内市立稚内中学校／稚内市立稚内中央小学校  
「学び合い」の取り組み
- 稚内西小中学校／元下勇知小中学校区  
学校と地域の関係からみる子どもの教育保障
- 稚内市立宗谷中学校  
産業教育を軸とした教育課程
- 稚内市立天北小中学校  
学校統廃合時の開校準備委員会の動き
- 北地区児童生徒支援ネットワーク  
学校・家庭・地域における子ども支援体制

### ～調査に対する私たちの思い～

宗谷ゼミでは、宗谷の教育に触れさせていただく中で、地域で力を合わせて子どもを育てることの意義と魅力、そして人が人を支えていくことの温かさと素晴らしさを肌で実感し、憧れと共感を抱いております。そこから感動が生まれるとともに、今後わたしたちが教育を学ぶ足がかりとなり、さらには、今後の人生に対する示唆までも与えてくれる存在となっています。

宗谷に調査に入らせていただくことを通して、仲間と「教育」について語り合えることを非常に嬉しく思います。同じ志をもった仲間と一緒に教育と真剣に向き合い、学びつくす一年間は本当に魅力的です。

今年度も宗谷へ調査に入らせていただけることに、心から感謝申し上げます。

## 宗谷教育調査団



名古屋大学教育学部教育経営学研究室

連絡先：〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町  
Tel&Fax: 052-789-2662 (教育経営学研究室)  
平成 25 年 8 月